

平成 29 年 1 月 12 日

報道機関各位

青森県営浅虫水族館

【浅虫水族館からのお知らせ】

浅虫水族館に大変珍しいヌマガレイが搬入されました。

通常のカレイは目が片側に 2 つあり、目がある方が黒色、ない下側の方が白色ですが、今回搬入されたヌマガレイは両面が黒色（有色）で、目が両面に 1 つずつ付いている、大変珍しい姿をしています。

この個体は平成 29 年 1 月 10 日に小川原湖にてワカサギ用の定置網にかかっているところを地元の漁師の方が発見し、水族館へ寄贈されました。

通常のカレイやヒラメは卵から孵化してしばらくは普通の魚のように上下両面に目があり、成長して海底に暮らすようになると目が片側へ移動し、平たい形へと変化します。しかし、この個体は何らかの理由で両側に目が残ったまま成長したものと思われます。また、目がどちら側にもついている影響で、両面が黒色になっていると思われますが、なぜ両側に目が残ったのかははっきりとした原因は不明です。

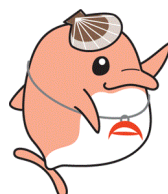
しばらくバックヤードにて様子を見た後、展示する予定です。



上側から見た様子



下から見た様子



問い合わせ先：浅虫水族館 広報企画課

TEL 017-752-3377 FAX 017-752-3379